

来週の「売り物記事」はこれ



2019年1月25日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「自殺防止」の先駆者

NPO法人「蜘蛛の糸」理事長の挑戦

27日（日）



自殺防止に取り組む秋田県のNPO法人「蜘蛛（くも）の糸」。その理事長、佐藤久男さん（75）は経営する会社が倒産し、死を考えた経験から相談活動を始めました。

同県は「民・学・官」が自殺対策で連携し成果を上げた「秋田モデル」でも知られ、佐藤さんは先駆者の一人です。その一方で、インターネットに自殺願望を書いた人たちが殺害される「座間事

件」が起こります。

顔の见えない若者も救いたい——。佐藤さんの軌跡と「これから」に迫ります。筆者は東京社会部とうきょう支局の川村咲平記者です。



私の胸のうち 「平成最後の〇〇」

サラダぼうる面 28日（月）



「平成最後の〇〇」というテーマに、家族との思い出や自分自身の人生を顧みる投稿が数多く寄せられました。「平成最後」は近ごろ街にあふれる言葉ではありますが、これもまた、一つの時代を振り返る良い機会でしょう。

平成最後の成人式に出席した、亡き父そっくりの長男。有名フィルハーモニーに平成最後の大出費などなど、笑いあり涙ありの体験をお伝えします。

松田喬和のずばり聞きます 大島理森・衆院議長

夕刊特集ワイド 29日（火）

圧倒的な「数の力」を持つ安倍晋三政権下では、与党の強引な国会運営が目立ちます。また、財務省の決裁文書改ざんなど解明されていない問題は山積したままです。

28日に招集される通常国会で、大島理森衆院議長はどのような手腕を発揮するのでしょうか。松田喬和・毎日新聞特別顧問＝写真＝がずばり聞きます。



美 ビューティィー 体の内外、オイルでケア

くらしナビ面 29日（火）



「太る」「ニキビの元になる」といった悪印象を持たれて敬遠されがちな油分。しかし、良質なものを適量摂取すれば美容効果が期待できそうです。

「脂質は体の細胞を守る膜に使われる。強い細胞を作るには良質な油が欠かせない」と専門家は指摘します。体に取り入れるだけでなく、冷えやすい季節のオイルマッサージも効果的だとか。

選び方や使い方を紹介します。

社会人野球の新しい息吹

スポーツ面 29日(火)から全3回

2019年、社会人野球の都市対抗野球大会は記念すべき第90回を迎えます。長引く不況で企業スポーツに逆風が吹き、一時は企業チームも減り続けていましたが、近年は増加傾向にあります。

新しく生まれたチームは何を求めて社会人野球に参入し、都市対抗を目指すのか――。

企画「社会人野球の現在地(いま)」の第1部では北海道ガス、山岸ロジスターズ(静岡)、ミキハウス(大阪)の3チームを紹介します。



都立広尾病院の死亡事故から20年

医療・福祉面 30日(水)



重大な医療事故が相次いだ1999年は「日本の医療安全元年」と言われます。それから20年。被害者が訴えてきた医療事故調査制度が始まるなど対策は進みましたが、消極的な医療機関も多く、病院の「死因解明義務」を問う裁判も起きています。

99年の都立広尾病院の点滴誤投与事故で妻を亡くし、当時の記者会見で涙を流した井裕之さん(78)＝写真＝は「医療に安全文化を根付かせる歩みは道半ばだ」と振り返ります。

論点 「辺野古」 県民投票

オピニオン面 30日(水)

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設の賛否を問う沖縄県民投票が2月24日実施されます。都道府県単位の住民投票は沖縄以外行われたことがなく、日米両政府が普天間全面返還で合意した1996年の県民投票に続き2度目となります。

いまだに普天間返還が実現しない一方で辺野古埋め立てが進む中、示される民意の意義と背景について考えます。



バレンタインデーに「ケーキポップス」を

くらしナビ面 2月1日(金)



2月14日はバレンタインデー。大切な人にお菓子を贈る人も多いでしょう。そこでお勧めなのが「ケーキポップス」。スポンジケーキをジャムなどと混ぜ合わせて丸め、チョコレートでコーティングした米国発祥のお菓子です。形や色、味を自由自在に変えることができ、「インスタ映え」も狙えそう。

今年は世界に一つだけの贈り物に挑戦してみたいはいかがでしょうか。